

平成30年1～6月の交通死亡事故の発生状況

◆上期は前年より急増◆

平成30年1月～6月 NEXCO東日本管内の死亡事故

《**21件※（+7件）、23名※（+9名）**》（ ）は前年同期比

※速報・当社調べ

◇主な事故形態※ 《データ重複あり》 ※速報・当社調べ

●停止車両衝突	6件、6名（前年同期：1件、1名）
●対向車線飛び出し	4件、6名（同上：2件、2名）
●自動二輪	4件、4名（同上：1件、1名）
●対人	4件、4名（同上：3件、3名）
●車外放出	3件、3名（同上：2件、2名）

◇お客さまへ安全運転のお願い

●漫然運転・わき見運転をしない！

高速道路上で「停止車両」や「人」に衝突する死亡事故が後を絶ちません。通常、高速道路の本線上に、車両が止まっていたり、人が立っていたりすることはありませんが、事故や故障等により、こういった事態が発生していることがあります。前方への注意を欠かさずに、緊張感を持った走行をお願いいたします。

●自動二輪の運転に注意！

自動二輪は雨や風など天候による影響を受けやすく、事故の際に体を守るものがないため、**重大な事故に繋がりがやすくなります**。出発前や休憩の際にはこまめに天候をチェックし、道路状況に応じた安全な速度での走行をお願いいたします。また、長時間にわたり同じ姿勢で風に晒されるため、疲労がたまりやすくなります。意識してSA・PAに立ち寄り、定期的な休憩を取るようお願いいたします。

●全部の座席でシートベルト着用！

シートベルトは衝突の際、車内にてハンドルやフロントガラスに胸や頭をぶつける二次衝突や車外放出を一定の範囲で防止する効果があります。法律に基づき、**運転席・助手席だけでなく後部座席も必ず着用してください。**